

制服におけるジェンダーレス対応について

●ジェンダーレスとは・・・

「男らしさ」や「女らしさ」といった社会的、文化的な性差をなくしていこうという考え方

●ジェンダーレスを制服で考えると・・・

選択肢を増やす

性差を感じさせないデザイン

例えば、スカートだけでなくスラックスも選べるなど、アイテムを1つに絞るのではなく、選択肢を増やすことが、学校生活での不安解消につながると考えています。

【イメージ】

性別でアイテムを絞らず、選択の幅を広げる(自由に組み合わせを選択可能にする)



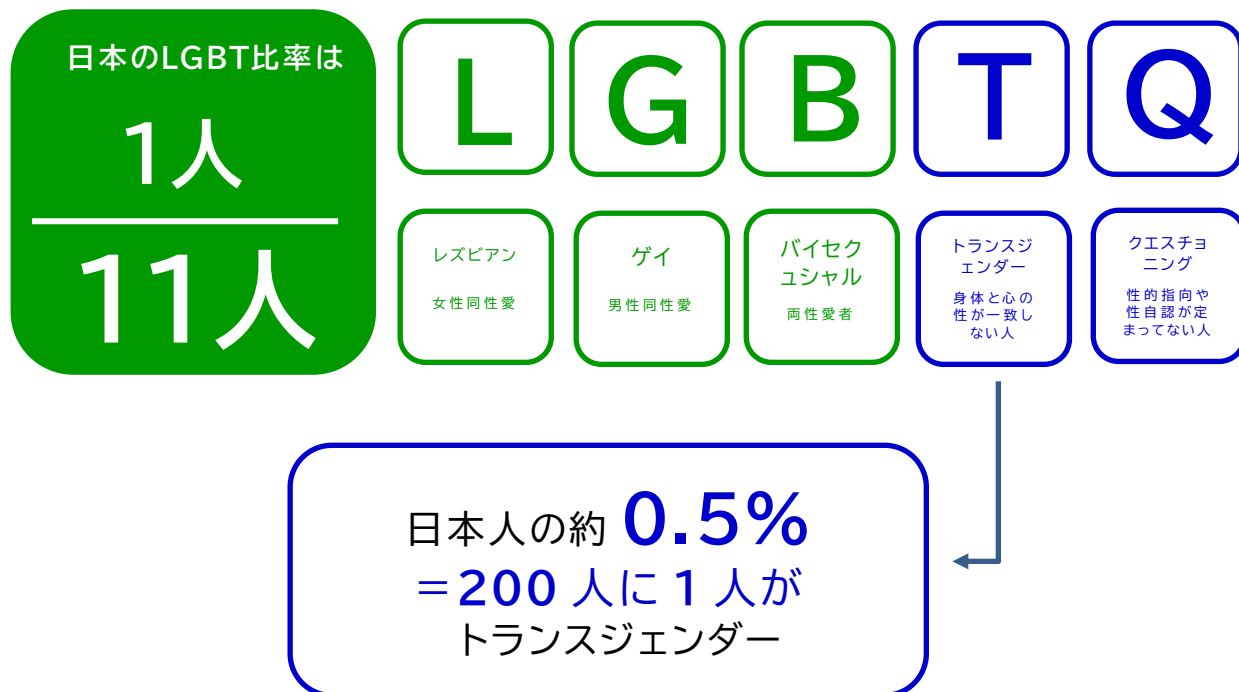
●制服のタイプ別で考えると・・・

学生服やセーラー服ではジェンダーレス対応が困難

●なぜジェンダーレスの検討が必要なのか・・・

制服は基本的に着用を義務づけられる衣服であり、男女の「見た目の性」によって服装が決められています。

一般的に、日本では約11人に1人がLGBTQと言われています。その中でもトランスジェンダーの生徒が、制服の強制力に苦しんでいることが分かってきました。



●制服を採用することとなった場合の制服に対する事務局の考え

トランスジェンダーの生徒への精神的負担を無くし、それ以外の生徒も満足して着用できる制服であることが望ましい。

●制服のデザインを協議するときに・・・

LGBTQ(性的少数者)への対応を検討が必要な要素の1つとして考えたうえで、結論を出していただきたい。